

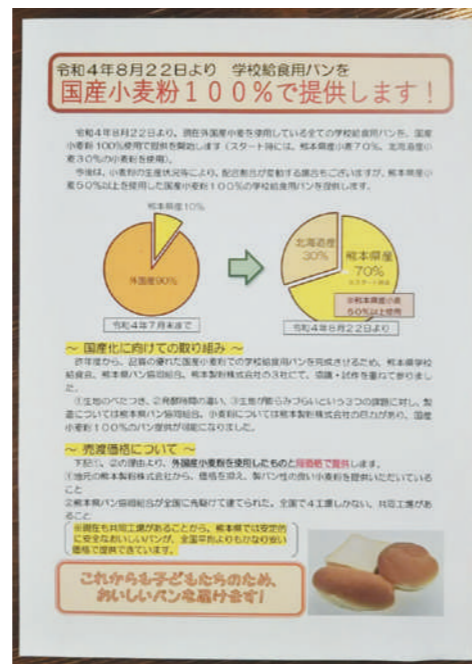


2021年1月県に署名と要望書を提出  
輸入小麦を原料とする食品のグリホサ  
ト残留を農産品分析センターの検  
査・分析報告で知り、その悪影響が心配  
な状況をリーフレットや署名用紙で広く  
伝える活動を始め、「熊本県の学校給食  
に国産小麦を使用してください」という  
要望内容の署名活動を始めました。36の  
団体・個人が賛同する中で、1万4千筆  
を超える署名が寄せられました。  
2021年1月20日、熊本県教育委員会・  
熊本県宛の署名用紙を添えて要望書を届  
けました。教育委員会体育保健課始め農

政課等関連する部局の出席があり、くま  
もとのタネと食を守る会からは消費者・  
生産者・子どもをもつ保護者のメンバー、  
中に県内小麦生産者もおり、意見交換で  
しつかり要望理由・思いを伝えました。  
**県の学校給食会を訪問**  
その後、県学校給食会へも訪問。話し合  
いのテーブルでは、給食会から米粉パン  
が供給されている現状や課題などを説明  
され、私たちはそれぞれの思いを伝えま  
した。  
**製粉会社への調査に同行 12月県議会で  
も取り上げられる**  
2021年12月の県議会一般質問で学校  
給食の小麦の問題、ゲノム編集トマトや  
マダイなど食の安全に関する質問に取り  
上げられることになりま【P2へ続く】

## こんなに早く、 学校給食のパンが全て 国産小麦に 変わるなんて！

～学校給食署名活動プロジェクト～



## 「身体にきゅん♡デトックスウィーク！」 ネオニコチノイド系農薬の数値の 分析結果をお楽しみに！！

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの助成を受け、「デトックスプロジェクト企画」を実施しています。日々どれだけネオニコチノイド系農薬を摂取しているのか？有機食材を食べることでその農薬検出量はどうか？尿検査をプロジェクト前後で実施し検証します。モニター期間 1 週間が 8 名、1 カ月が 2 名、合計 10 名のモニターさんにご協力いただき、9 月からスタート。10 月はじめまでで全員がプロジェクト完了しました。あとは結果と分析を待つのみ...！分析は、ネオニコチノイドの人体に与える影響を長年研究しておられる木村-黒田純子先生に依頼しています。どんなことが分かるのか、お楽しみに！ 文責・中里千恵

こちらから Youtube に いけます

第1回 デトックスプロジェクトの経験者に話を聞いてみた！クロ！【前編】

#カエルでもわかる農薬の話

## Youtube 動画シリーズ 「#カエルでもわかる農薬の話」 第2回まで公開中だケロ！

「#カエルでもわかる農薬の話」は、デトックスプロジェクト「身体にきゅん♡デトックスウィーク！」の同時企画の動画シリーズです。ちょっとむずかしい農薬の話や、カエルがナビゲートしながら楽しくわかりやすく発信しています。  
第1回目の動画では、別団体（有機食材店「有機生活」さん）主催でのデトックスプロジェクト経験者にお話を聞こうという企画。結果がどうだったか、楽しかったことやオススメのレシピなどを聞いています。  
第2回目は、農産品分析センターの所長さんに登場いただき、デトックスプロジェクトの肝であるネオニコチノイドの分析に関してお話をうかがいました。カエルからの無茶振りにもお話し上手に伝えてくださる所長さん！喜怒哀楽悲喜こもごも楽しい動画になりました。  
第3回目の動画も 12 月中旬に公開予定です。今回は神戸大学の星信彦教授に最新の研究結果を聞きました。これは本当に必聴です！！さらに新キャラも登場して、難しい話をどれだけとつきやすくできるのか！？ご期待ください～ケロ！ 文責・出田芙実

### 各地での動き

- ★10/8 菊池市の学校給食を考える会：「食の安全を守る人々」上映会  
菊池市中央公民館キクロスで「食の安全を守る人々」映画上映会を開催しました。46 名の参加があり、「又聞きで人から聞いたり言葉だけよりも心に響いた」「すぐにも行動にうつしていかなければいけないと思った」などの嬉しいご感想が沢山あり、充実した上映会となりました。また次の活動へつなげていきたいと思ひます。
- ★10/26 熊本市の学校給食を考える会準備会：全国オーガニック給食フォーラムのサテライト視聴会
- ★11/20 八代市「食の安全を守る人々」上映会 自主上映会実行員会主催
- ★12 月 荒尾市議会へ「ゲノム編集を受け取らないで」の陳情書提出準備

## 署名賛同団体の みなさまから一言

- ご協力ありがとうございました！
- くまもと有機の会/田中誠  
先ずは国産から、そして国産有機へ。少しずつより良い未来へ！！
  - グリーンコープ生活協同組合くまもと/理事長 小林香織  
声を届けてきたことが実を結び大変うれしく思います。今後の活動の励みとします。
  - 有機無農薬の百草園/代表 間司  
強力粉を有機で作っています。小麦の有機での生産は可能です。次の一歩に進みましょう！
  - NPO法人くまもと未来ネット/理事 井上智  
私達は「持続可能な熊本」に取り組みたいです。水も食も、持続可能な自然と命の循環です。
  - タネと未来くまもと/代表 内田朋昭  
県の学校給食が国産小麦になったことで子供達が安全なパンが食べられ、健康に育つことが喜ばしいです。
  - 消費者の会 千草会/代表 成毛佳季  
身体と心が爆発的に成長する子ども達が多く集う学校が、安全な食への舵を切った事は嬉しいです！
  - 熊本のちと土を考える会/理事長 高山健也  
小さな力でも集められれば、物事を動かすことができる。この経験を共有できたことに感謝です。
  - 寺カフエ椿/店主 稲田千春  
これからの食の安全を守っていく活動に協力できればと思っております。
  - 菊池市の学校給食を考える会/代表 中里千恵  
大きな一歩ですね。さらにオーガニック給食へ向けて頑張りましょう！！
  - ママトコキッチン/山下海南子  
子どもたちは給食を選べません。子どもたちが安心して給食のパンを食べられることになり、子を持つ親として嬉しいですね。
  - 自然派きくち村渡辺商店/代表 渡辺義文  
学校給食に国産小麦を使うことで、子供たちの意識も変わっていくでしょう。
  - natural natural (旧：九州産直クラブ)  
国産小麦切り替え実現をきっかけに「くまたね」の活動が全国へ広がることを願います。
  - クオリ太陽堂&こどもの給食を考える会/園田恭子  
大きな一歩ですね。それぞれの立場の活躍の賜物です。
  - pokapoka/岩下さおり  
嬉しいですね！まずは国産、ゆくゆくは無農薬へ！未来ある子供たちと日本のために。
  - 有機生活/松下修  
嬉しい、学校給食パンの国産小麦化。子供の健康と未来のために、次は無農薬へ。
  - 認定こども園 たまき幼稚園/副園長 緒方清博  
給食の小麦が国産になったことに嬉しく思います。子どもたちのことを考え大人が行動するときですね。

## 会費納入および寄付のお願い

日頃らくまたねの活動にご協力いただきありがとうございます。今回の会報でも明らかなように、くまたねは発足して丸4年になりますが、発足目的に従い、多岐にわたる活動を続けております。しかしながら、活動の資金が枯渇しております。出費も重なる現状ではありますが、大切な活動を支えるため、会員拡大、会費納入及び寄付について、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

振込用紙を同封しています  
ご支援をお願いします！

ゆうちょ銀行  
【記号番号：01780-0-172287】  
もしくは  
【一七九店（当座）0172287】



「タネと未来くまもと」より、5月28日にくまたねの総会の時に長野克也先生（東海大学農学部非常勤講師）の講演会の後に、タネ採り人マッピングの画像のスライドショーと動画を紹介しました。タネと未来くまもとで県内各地から農家さん、家庭菜園の方からタネのデータなどを

送って頂いたのを集めたのをくまたねさんのお力をお借りしまして、タネ採り人マッピングが出来上がり、くまたねさんのホームページの方へ載せて頂きました。沢山の農家や家庭菜園の方が貴重なデータを送って頂いたのでとても充実したマッピングができたことをご報告させていただきます。今後は、県内全域がマッピング検索出来るようにホームページの下記でタネ採り人募集したり、各地域でタネ採り人のデータを集約する方を募集かお願いする形でタネ採り人を増やしていこうと思います。（タネと未来くまもと代表 内田朋昭）

くまたね HP > くまもとのたねとり人マップ



県南にも  
たねとり人いるはず！  
連絡ください♪



報告①

「貴自治体の福祉施設や教育施設において、ゲノム編集トマトを受け取らないでください。熊本はトマトの生産地です。交雑も心配です」という要望書を 45 市町村首長と教育長宛に提出しました。

不安がつるゲノム編集食品

パイオニアエコサイエンス社は、ゲノム編集トマト「シリアンルージュハイギャバ」の種苗を、福祉施設や教育施設へ無償配布する計画を発表しました。福祉施設への配布は 2022 年、教育施設は 2023 年に開始することです。子供達にまだ議論の多いゲノム編集の苗を無償で配布し、授業で使うなんて、とんでもないことです。熊本は、ゲノム編集の日本で初めての商業栽培（研究目的ではなく、一般販売目的）の生産地になってしまいました。パイオニアエコサイエンス社に栽培地域や栽培方法を問い合わせても、答えてくれませんでした。くまたね以外

STOP!!  
ゲノム編集食品

報告②

10月1日には、印鋤智哉さん講演会「ゲノム編集の“モヤット”をスッキリに変える！」を開催。私たちは何故ゲノム編集食品に反対するかを以下にまとめました。

- ①ゲノム編集は品種改良ではありません。遺伝子工学に基づく遺伝子操作技術です。
- ②予測できない遺伝的エラーを引き起こす可能性あり。オフターゲットと言います。
- ③これまでも思いもかけない遺伝子的な変異が生み出されました。未知の毒性やアレルゲン物質が生成される可能性があるとして警告する科学者達もいます。
- ④自然のあり方の一部を壊して奇形化した動植物であ

でも生協や市議会議員が見学を申し入れましたが、断られています。情報を公開しないゲノム編集のトマトの栽培への不安がつのります。最近わかったことですがソバージュ栽培という、ハウスを用いない開放的栽培方法のようです。ますます、交雑が心配になりました。

「受け取る」との回答は0

45 市町村への要望書への回答は 17 自治体、23 部局から回答がありました。「受け取らない」が 8 部局。「その他」が 15 部局、「受け取る」は 0 です。要望書と結果を添付しますので、ご覧になってください。

足元でアクションを起こしましょう

直接事務局に自分の住む自治体が回答を送ってきたかどうかを聞いてくだされば、お教えします。足元でアクションを起こしてください。

自治体は、国がゲノム編集を認めても、自治法にもとづいて独自の判断ができる領域があるのです。地方自治の力を信じましょう。 文責・間すみこ

ることが明らか。筋肉真鯛。肥大トラフグ。回遊できない養殖サバなど。ギャバ成分を作り続けるミニトマトも同じです。総じて気味の悪い食べ物です。

- ⑤アメリカで売り出された高オレイン酸大豆なるものは、消費者にそっぽを向かれ早々と消えてしまいました。
- ⑥表示の必要なしという政府の姿勢は乱暴すぎます。食品の選択の機会だけでなく、人為的、自然的交雑をとらうして、自然生態系に混乱が起こることも心配です。
- ⑦食べ物については規制と選択可能な表示が必要。
- ⑧農家の営みを阻害する危険が。意図しない交雑により、有機農業者などゲノム編集種でない作物を作る農家の営みを阻害しない方策を！ 文責・間司

※講演の録画はくまたね Youtube チャンネルでご覧ください。

タネ  
「現代農業と種子」

くまもとのタネと食を考える会・顧問 長野 克也

2022 年内には世界の人口は 80 億人に達する予想です。これらの人々は長年の人類の英知によって品種改良された農産物の品種に支えられています。現代農業なくしては世界の人口のほとんどは生存できないのも事実です。

現代の優良な品種は多収で形が揃い、美味しいものにあふれています。これは過去 1 万年の間の人類と植物の遺伝的多様性との戦いの結果なのです。この戦いに一応勝利した人類は大繁栄しています。

その結果、現代の農産物は生存のために必要で重要な遺伝子を消失し、人間の手厚い保護の下でしか生存できない脆弱な植物になってしまいました。このことは農業を工業製品や大きなエ

ネルギーを消費する高エネルギー消費型の産業に変化させました。

さらに、環境の悪化や気候変動が地球規模で進行し、戦争等の社会不安が現実のものとなり、今後の食糧確保に不安な影を落としています。

これらの現状を踏まえ、我々はもう一度植物が本来有する多様な遺伝子を見直す必要があるでしょう。幸いにもそれらの遺伝子は地方品種や古典品種のタネの中に残存している可能性があります。今こそ、現代の品種からは失われたこれらの貴重な遺伝子を保存し、有効利用する時期かもしれません。

全てが失われる前に……………

ながの かつや  
長野 克也 氏

1955 年熊本県生まれ。東京農業大学出身（農学博士）。東海大学農学部教授（植物遺伝資源学研究室）を 2021 年に退職、現在は東海大学農学部非常勤講師を務める。阿蘇の草原保全（環境省）や 恋路島の植生の保護に関する研究（水俣市）、熊本市環境保護地区指定候補地精密調査（熊本市）他多数に携わる。

タネを語らせたら日本一！の、タネを求めて世界を旅する種とり人。  
“タネは動けない植物にとっての生き残り戦略”。面白くないはずがない！  
2022 年より、くまたねの顧問に就任。

